

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-66821

(43) 公開日 平成11年(1999) 3月9日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

G 1 1 B 27/034

識別記号

F I

G 1 1 B 27/02

K

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平9-222669

(22) 出願日 平成9年(1997) 8月19日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 須曾 公士

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地

株式会社日立製作所デザイン研究所内

(72) 発明者 深津 誠

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地

株式会社日立製作所デザイン研究所内

(74) 代理人 弁理士 武 順次郎

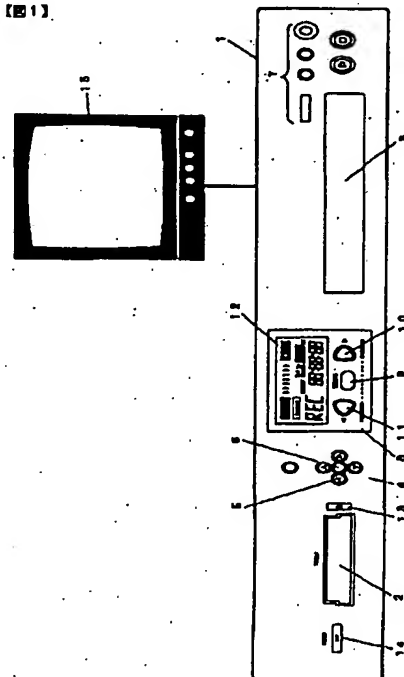
(54) 【発明の名称】 映像編集装置及び映像編集方法

(57) 【要約】

【課題】 PCカードの記録情報の必要な部分を保存することができ、また、そのための操作を容易にする。

【解決手段】 装置本体1にPCカードの挿入口2とDVDの挿入口3とが設けられており、挿入口2側にPCカードのイジェクトボタン13などの操作部が、挿入口3側にDVDの操作部7が夫々設けられている。これら挿入口2、3間には、PCカード、DVD間の編集（ダビング）のための選択操作部4や編集操作部8、編集表示部12が設けられている。編集操作部8のダビングボタン10、11はPCカードからDVDへの、また、その逆の編集を選択するものであり、編集モード切換ボタン9は全部編集、一部編集の選択をするものである。一部編集の場合には、モニタ装置15の画面を見ながら、選択操作部4のカーソルボタン5と決定ボタン6との操作により、編集ファイルを決めることができる。

【図1】



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 装置本体にPCカードの挿入口とデジタルビデオディスクの挿入口とを備え、  
該PCカードの挿入口の近傍に該PCカードの操作部を、該デジタルビデオディスクの挿入口の近傍に該デジタルビデオディスクの操作部を夫々設けるとともに、該夫々の挿入口の間に、該PCカードとデジタルビデオディスクとの間の編集動作を行なわせるための編集操作部と、編集動作状態を表示する編集表示部とを設けたことを特徴とする映像編集装置。

【請求項2】 請求項1において、  
前記PCカードに記録されている映像情報を読み出して前記デジタルビデオディスクに記録する第1の編集方向と、前記デジタルビデオディスクに記録されている映像情報を読み出して前記PCカードに記録する第2の編集方向とを選択する手段を設けたことを特徴とする映像編集装置。

【請求項3】 請求項2において、  
前記PCカードまたは前記デジタルビデオディスクに記録されている全ての映像情報を読み出して前記デジタルビデオディスクまたは前記PCカードに記録する第1の編集モードと、前記PCカードまたは前記デジタルビデオディスクに記録されている映像情報の一部を読み出して前記デジタルビデオディスクまたは前記PCカードに記録する第2の編集モードとを選択する手段を設けたことを特徴とする映像編集装置。

【請求項4】 請求項2または3に記載の映像編集装置での映像編集方法であって、  
前記編集表示部に、第1の編集方向か、第2の編集方向かを示す情報を表示することを特徴とする映像編集方法。

【請求項5】 請求項3に記載の映像編集装置での映像編集方法であって、  
前記編集表示部に、前記第1の編集モード時、映像情報を記録する前記デジタルディスクメモリまたはPCカードの順次変化するメモリ残量を、前記第2の編集モード時、前記デジタルディスクメモリまたはPCカードから読み出されているファイルの番号を夫々表示することを特徴とする映像編集方法。

【請求項6】 請求項5において、  
前記第2の編集モードが選択されたとき、編集の対象として適宜前記ファイルの番号を選択することによってその番号を前記編集表示部に表示し、決定ボタンの操作によって表示された該番号のファイルを編集の対象と決定することを特徴とする映像編集方法。

【請求項7】 請求項6において、  
前記装置本体にモニタ装置が接続されており、  
前記第2の編集モードが選択されたとき、編集のために映像情報を読み出す前記PCカードまたは前記デジタルビデオディスクでの該映像情報の各ファイルの番号を

2

該モニタ装置の表示画面に表示し、該表示画面上で前記編集の対象となるファイルの番号を選択することとを特徴とする映像編集方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、カメラなどで映像情報の記録に使用されるPCカードの記録映像情報の編集装置及び編集方法に関する。

## 【0002】

10 【従来の技術】 近年、片手で撮影操作ができるようにした小型のカメラが注目されており、そこには、PCカードが取り出し可能に内蔵されて、撮影した映像を記録できるようにしている。かかるカメラ、即ち、デジタルメモリ付きカメラはパソコンに接続可能であって、PCカードに記録された映像情報をパソコンの表示画面で表示することができるし、また、かかるカメラからPCカードを取り出してパソコンで 사용할 ことができる。

## 【0003】

20 【発明が解決しようとする課題】 ところで、かかるPCカードにも記憶容量があるため、この容量いっぱいには記録がなされると、この記録した映像情報を保存しておきたい場合には、そのPCカードはもはや新たな映像情報の記録に使用することができず、新たに撮影映像を記録したい場合には、新たなPCカードを使用しなければならない。しかし、PCカードは高価なものであるし、また、記録済みのPCカードを保存するには、そのためのある程度の空き記憶容量も必要となる。

30 【0004】 また、パソコンにおいて、PCカードの記録情報をダビングして保存したり、編集したり、削除したりする方法も採られているが、このためには、パソコンを使えなければならないし、また、カメラをケーブルでパソコンに接続してPCカードからパソコンに映像情報を送るようにしている。従って、PCカードの記録情報をパソコンに転送する度に、カメラとパソコンとのケーブルの接続の手間がかかるし、また、カメラを使用する場合には、この接続を外すという手間がかかることになる。また、パソコンを持っていなかったり、使えない人は、このようなPCカードの記録情報を保存しておくためには、上記のように、PCカードそのものを保存しておくしか方法はない。

40 【0005】 さらに、PCカードの映像情報をパソコンで保存するような場合、特に、その保存する映像情報が動画情報であるときには、パソコンで保存する映像情報量も膨大なものとなり、その分パソコンのそれ以外のために使用するメモリ容量が少なくなることになる。

【0006】 本発明の目的は、かかる問題を解消し、PCカードの記録映像情報を、簡単な操作でもって、保存することができようにしたPCカード専用の映像編集装置及び映像編集方法を提供することになる。

## 【0007】

50

3

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明による映像編集装置は、装置本体にPCカードの挿入口とデジタルビデオディスクの挿入口とを備え、該PCカードの挿入口の近傍に該PCカードの操作部を、該デジタルビデオディスクの挿入口の近傍に該デジタルビデオディスクの操作部を夫々設けるとともに、該夫々の挿入口の間に、該PCカードとデジタルビデオディスクとの間の編集動作を行なわせるための編集操作部と、編集動作状態を表示する編集表示部とを設ける。

【0008】本発明による映像編集装置は、さらに、PCカードに記録されている映像情報を読み出してデジタルビデオディスクに記録する第1の編集方向と、デジタルビデオディスクに記録されている映像情報の読み出してPCカードに記録する第2の編集方向とを選択する手段を設ける。

【0009】本発明による映像編集装置は、さらにまた、PCカードまたはデジタルビデオディスクに記録されている全ての映像情報を読み出してデジタルビデオディスクまたはPCカードに記録する第1の編集モードと、PCカードまたはデジタルビデオディスクに記録されている映像情報の一部を読み出してデジタルビデオディスクまたはPCカードに記録する第2の編集モードとを選択する手段を設ける。

【0010】本発明による映像編集方法は、上記映像編集装置において、編集表示部に、第1の編集方向か、第2の編集方向かを示す情報を表示する。

【0011】本発明による映像編集方法は、上記映像編集装置において、編集表示部に、第1の編集モード時、映像情報を記録するデジタルディスクメモリまたはPCカードの順次変化するメモリ残量を、第2の編集モード時、デジタルディスクメモリまたはPCカードから読み出されているファイルの番号を夫々表示する。

【0012】本発明による映像編集方法は、さらに、第2の編集モードが選択されたとき、編集の対象として適宜ファイルの番号を選択することによってその番号を編集表示部に表示し、決定ボタンの操作によって表示されたこの番号のファイルを編集の対象と決定する。

【0013】本発明による映像編集方法は、さらに、上記の装置本体にモニタ装置が接続されており、第2の編集モードが選択されたとき、編集のために映像情報を読み出すPCカードまたはデジタルビデオディスクでの映像情報の各ファイルの番号をモニタ装置の表示画面に表示し、この表示画面上で編集の対象となるファイルの番号を選択することができるようにする。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を図面により説明する。

【0015】図1は本発明による映像編集装置及び映像編集方法の一実施形態を示す正面図であって、1は装置

4

本体、2はPCカードの挿入口、3はデジタルビデオディスク（以下、DVDという）の挿入口、4は選択操作部、5はカーソル操作ボタン、6は決定ボタン、7はデジタルビデオディスクの操作部、8は編集操作部、9は編集モード切換ボタン、10、11はダビングボタン、12は編集表示部、13はPCカードのイジェクトボタン、14は電源ボタン、15はモニタ装置である。

【0016】同図において、装置本体1の左側にPCカードの挿入口2が設けられ、そこからPCカードを挿入して装置本体1に装着できる。この挿入口2の傍らに、装着されたPCカードをイジェクトするためのイジェクトボタン13が設けられている。また、装置本体1の右側にDVDの挿入口3が設けられており、この挿入口3の傍らに設けられたDVDの再生やイジェクトなどを行なわせるための操作部7の適宜の操作でもって挿入口3からトレイ（図示せず）が排出されることにより、この挿入口3から、DVDの装置本体1への装着、排出を行なうことができる。この装置本体1には、モニタ装置15が接続されている。

【0017】また、これら挿入口2、3間には、編集に際して操作する選択操作部4と編集操作部8とが設けられている。選択操作部4は、決定ボタン6と、その周り4個所に、後述するように、モニタ装置15に表示されるカーソルの移動方向を決めるカーソルボタン5とからなり、編集操作部8は、編集モード（全部のダビングか、一部のダビングか）を設定するための編集モード切換ボタン9と編集の方向（PCカードからDVDへのダビングか、DVDからPCカードへのダビングか）を決めるダビングボタン10、11と編集表示部12とからなっている。編集表示部12では、編集動作の状態を表わす情報が表示される。

【0018】このように、挿入口2、3を装置本体1の左右の端に配置し、その間に編集に関する操作部である選択操作部4と編集操作部8とを集中して配置しているため、装置本体1の横幅寸法がモニタ装置15の横幅寸法と略同一な限られた大きさであっても、編集操作で使用する操作ボタンが明確であり、使用者に対して使い易さを与える。

【0019】さらに、編集作業の手順に従い、準備作業ともいえる編集モードや編集の方向を決定する操作ボタンと、編集する情報を選択する操作ボタンとを明確に分離して配置しているし、また、ダビングボタン10、11の形態がダビングの方向を示す三角形をなしているため、使用者に対して使い易さを与え、誤操作を防止できる。

【0020】さらに、モニタ装置15の表示画面には、ダビング操作を行なうことなく単独でPCカードやDVDの再生時、夫々の走行状態を示す情報内容が表示される。

【0021】なお、この実施形態では、選択操作部4の

5

右側に編集操作部 8 を配置するものであったが、これにこだわるものではなく、選択操作部 4 の左側に編集操作部 8 を配置してもよい。この場合、選択操作部 4 を右手で操作しても、編集表示部 12 をこの右手が覆うことがないので、編集表示部 12 の視認性が向上する。

【0022】装着された PC カードと DVD との間の編集に際しては、その編集を行なうに必要な情報がモニタ装置 15 の表示画面に表示され、この画面を見ながら編集モードの決定や編集内容の選択などを行なうことができる。

【0023】次に、この実施形態の編集動作について説明する。ここでは、PC カードから DVD へダビングする場合を説明するが、DVD から PC カードにダビングする場合も同様である。

【0024】図 2 は PC カードの記録情報を全て DVD にダビングする場合を示すものであって、同図 (a) は編集表示部 12 での表示内容を、また、同図 (b) はモニタ装置の表示画面の表示内容を夫々示しており、①、②、③はその表示順序を示している。

【0025】図 1 及び図 2 において、電源ボタン 14 を操作して装置本体 1 に電源を投入した後、挿入口 2 から PC カードを挿入し、また、挿入口 3 から DVD を挿入してそれらを装置本体 1 に装着した状態において、PC カードから DVD にダビングする場合には、編集操作部 8 でのこの編集方向を表わしているダビングボタン 10 を操作する。この操作により、編集表示部 12 は図 2 (a) の①で示す表示状態となり、また、電源が投入されたモニタ装置 15 の表示画面には、図 2 (b) の①で示す画像が表示される。

【0026】ここで、図 2 (a) ①において、表示「PC Card」、表示「DVD」間に表示「DVD」の方向に向いた複数の三角形マークの列が表示されており、これにより、PC カードから DVD へのダビングが指定されたことを表わしている。また、モニタ装置 15 においても、図 2 (a) ①に示すように、表示「PC Card」、表示「DVD」間に表示「DVD」の方向に向いた矢印で PC カードから DVD へのダビングが指定されたことが表わされ、これとともに、全部のダビングか、一部のダビングかの編集モードの選択と編集のキャンセルとを行なうことができるようにしており、このための操作は編集モード切換ボタン 9 によって行なうことができる。そこで、この編集モード切換ボタン 9 を操作すると、棒状のカーソルが「全部」、「一部」、「キャンセル」の表示部分の順に移動してこれを繰り返す。

【0027】そこで、編集モード切換ボタン 9 によって表示「全部」を指定したときには、編集表示部 12 は、図 2 (a) ②で示す表示状態となり、PC カードの記録情報の全部をダビングすることを指定されたことを「ALL」の表示 12 d で持って表示されるとともに、ダビングされる情報量が情報残量 12 e として、例えば、

6

「0700MB」と表示される。

【0028】かかる状態で再度同じダビングボタン 10 を操作すると、PC カードから DVD への全部の映像情報のダビング動作が開始する。このとき、編集表示部 12 には、図 2 (a) ③に示すように、DVD で記録が行なわれてダビングが行なわれていることを示す「REC」12 f が表示され、これとともに、情報残量 12 e と記録経過時間 12 g とが表示され、さらに、上記の三角マーク列 12 c が左側から右側へと点灯が順次移る表示が繰り返されて、PC カードからデジタルビデオディスクへのダビングが行なわれていることが表示される。

【0029】一方、ダビングの開始後では、モニタ装置 15 の表示画面に図 2 (b) ②に示す画像が表示される。即ち、PC カードから DVD へのダビングが行なわれていることの表示とともに、「全部」の表示で持って全部の情報のダビングであることを表わしており、情報残量や記録経過時間も表示される。そして、これらの情報とともに、PC カードから再生される映像もこの表示画面に表示される。なお、この映像は、表示画面の一部に縮小して表示するサムネード表示するようにしてもよい。

【0030】以上の編集が終了すると、編集表示部 12 での表示とモニタ装置 15 の表示画面での表示が終わる。また、図 2 (b) ①で示す表示状態で、編集モード切換ボタン 9 で「キャンセル」を指示し、編集をするに際して操作した上記のダビングボタン 10 を操作することにより、編集の指示はキャンセルされ、編集表示部 12 での表示とモニタ装置 15 の表示画面での表示はその指示前の状態に戻る。さらに、図 2 (b) ②で示す表示状態で、選択操作部 4 でのカーソルボタン 5 を操作して表示されている「キャンセル」を指示し、決定ボタン 6 を操作すると、ダビングが停止し、編集表示部 12 での表示とモニタ装置 15 の表示画面での表示はその編集指示前の状態に戻る。

【0031】以上のようにして、モニタ装置 15 の表示画面を見ながら、編集操作部 8 を操作することにより、簡単に PC カードから DVD へのダビングが可能となり、また、編集表示部 12 での表示により、ダビング動作の状態などを容易に知ることができる。

【0032】図 3 は PC カードの記録情報の一部を選択して DVD にダビングする場合を示すものであって、同図 (a) は編集表示部 12 での表示内容を、また、同図 (b) はモニタ装置 15 の表示画面の表示内容を夫々示しており、①、②、③はその表示順序を示している。

【0033】図 1 及び図 3 において、上記と同様にして PC カードと DVD とが装置本体 1 に装着した状態において、PC カードから DVD にダビングするものとして、編集操作部 8 でのダビングボタン 10 を操作すると、図 2 (a) 、 (b) での①と同様に、編集表示部 1

7

2は図3(a)①で示す表示状態となり、また、モニタ装置15の表示画面は図3(b)①で示す画像が表示される。

【0034】ここで、PCカードの記録情報の一部をダビングする場合には、上記のようにして、編集操作部8の編集モード切換ボタン9を操作し、モニタ装置15の表示画面(図3(b)①)での「一部」の表示を選択する。この選択により、モニタ装置の表示画面の表示は、図3(b)②に示すように、PCカードでの記録情報のファイル番号「1」、「2」、「3」、……が表示される。また、編集表示部12では、一部ダビングが指定されたことを示す「PART」の表示12hがなされる。

【0035】なお、ここでのファイルとは、例えば、動画情報の場合には、その記録開始から記録停止までの映像情報をいい、静止画情報の場合には、個々の静止画情報をいう。夫々のファイルには、少なくとも、それらファイルを区別するためのファイル番号が付されている。

【0036】かかる状態で、選択表示部4でのカーソルボタン5を操作することにより、モニタ装置15の表示画面でのダビングしたいファイルの番号を指定し、決定ボタン6を操作すると、この番号のファイルをダビングすることが決定し、同様の操作により、他のダビングするファイルの選択、決定を行なう。図3(b)②は番号「2」、「4」、「5」、「8」のファイルを選択することを表わしており、図3(b)②はファイル番号「8」が選択されたときの状態を表わしている。

【0037】この場合、次のファイルが選択されるまでの期間、選択したファイルの映像をモニタ装置15の表示画面全体に表示するようにしてもよいし、サムネール表示するようにしてもよい。この場合のサムネール表示としては、ダビング中のファイル番号もしくは他のファイル番号の表示枠内に表示するようにしてもよい。このような表示を行なうことにより、選択するファイルの内容を確認することができる。

【0038】以上のようにしてダビングするファイルを選択した後、上記の同じダビングボタン10を再度操作すると、選択した順に、あるいは、番号が先となる順に、選択されたファイルのダビングを開始する。このとき、モニタ装置15の表示画面には、図3(b)③に示すように、選択されたファイルの番号とともに(ここでは、ファイル番号「2」、「4」、「5」、「8」、「15」が表示されているものとする。このファイル番号「15」は図3(b)②に図示されていないが、ファイルはたくさんあるものであり、ファイルを選択する図3(b)②の状態に表示するファイル番号を変えることができるようにしている)、ダビング中のファイルの番号(ここでは、ファイル番号「8」とする)が太枠で囲んで表示される。これとともに、このダビング中のファイルの映像が画面全体に表示され、あるいはサムネール表示される。この場合のサムネール表示としては、ダビ

8

ング中のファイル番号もしくは他のファイル番号の表示枠内に表示するようにしてもよい。また、編集表示部12では、図3(a)③で示すように、ダビング中のファイル番号12jが表示される。ここでは、ファイル番号「2」のファイルがダビング中であることが表示されている。これら以外は、先の図2(a)③の表示と同様である。

【0039】なお、全ての選択されたファイルのダビングが終了したときやダビング中に上記のキャンセル操作を行なったときには、上記と同様の表示状態となる。

【0040】ところで、PCカードからDVDにダビングする場合、既に多くのダビングがなされているため、DVDでのメモリ残量が充分でなく、一部ダビングすることができない場合がある。図4はこの場合の処理を示す図であって、図4(a)は編集表示部12での表示内容を、図4(b)はモニタ装置15の表示画面での表示内容を示すものである。

【0041】先に説明したように、装置本体1に装着されているPCカードからDVDへ全部の記録情報をダビングするために、図2(a)②、図2(b)①の表示状態で編集操作部8のダビングボタン10を操作したとき、PCカードの記録情報全部を記録できるメモリ容量をDVDが持たない場合には、あるいは、PCカードからDVDへ一部の記録情報をダビングするために、図3(a)②、図3(b)②で説明したように、ダビングすべき全てのファイルを決定してこのダビングボタン10を操作したとき、PCカードの指定されたファイルの記録情報全部を記録できるメモリ容量をDVDが持たない場合には、ダビングを行なうことができず、編集表示部12には、図4(a)に示すように、「ERR」の表示12kとメモリ残量が0である表示12mがなされる。また、モニタ装置15の表示画面では、図4(b)に示すように、「エラー」の表示とその理由を示すメッセージとが表示される。

【0042】この図4(b)で示す表示では、DVDの実際のメモリ残量が、例えば、30MBと表示されるが、このメモリ残量では、PCカードの記録情報の全部または選択された一部を記録できないことになる。

【0043】図4に示す表示状態では、ダビングが指定された状態であり、この指定があっても、ダビング動作を行なうことができない。この状態を解消するためには、上記と同様、選択操作部4でのカーソルボタン5を操作してモニタ装置15の表示画面に表示されている「キャンセル」を選択し、決定ボタン6を操作すればよい。

【0044】以上のようにして、この実施形態では、カメラの撮影映像(動画や静止画、さらには、これらに音声を付随させることもできる)を記録したPCカードをメモリ容量が大きいDVDにダビングすることができ、PCカード多数枚分の映像情報を保存できるから、同じ

9

PCカードを繰り返し使用することができる。

【0045】また、このダビングのための操作は、モニタ装置15の表示画面での表示内容にしたがって行なうことができるから、非常に容易なものとなる。

【0046】なお、上記説明は、PCカードからDVDにダビングする場合であったが、ダビングボタン11を使用することにより、同様にして、DVDからPCカードへのダビングも可能である。この場合、PCカードについては、メモリ残量というものがなく、ダビングが開始されると、このPCカードのメモリ領域の先頭から書き込みが行なわれる。従って、このPCカードが既に使用されたものであるときには、そこに過去記録された映像情報が残っているが、DVDからのダビングはこれに上書きされることになる。DVDからのダビング情報量がPCカードの記録可能なメモリ容量を越える場合には、ダビングは行なわれず、図4に示したようなエラー表示が行なわれる。この場合、編集表示部12で表示される三角マーク列12cの向きや、モニタ装置15の表示画面で表示される矢印の向き（例えば、図2(b)①)の向きは図示とは逆になる。このようにDVDからダビングされたPCカードの記録情報は、例えば、デジタルディスク付きカメラに用いて再生表示することができる。

【0047】さらに、操作部7の所定の操作ボタンを操作することにより、装着されたDVDの記録情報を再生してモニタ装置15の表示画面に表示させることができる。また、図1では、PCカードのイジェクトボタン13のみを図示しているが、挿入口2の近傍に再生ボタンなどを設けることにより、装着されたPCカードの再生を行ない、その再生映像をモニタ装置15で表示させるようにすることもできる。勿論、かかるPCカードの操作ボタンを操作部7にまとめて配置することもできるが、むしろ、PCカードの操作ボタンはPCカードの挿入口2の近傍に設け、DVDの操作ボタンをDVDの挿入口3の近傍に設けた方が、操作の間違いも少なく、使い勝手が向上する。

【0048】また、編集表示部12には、編集の方向を示す内容と、状態を示す内容と、記録可能な残量と、記録の経過を示す内容とを表示させ、モニタ装置15の表示画面には、記録情報や編集のための詳細情報を表示させるようにしたので、編集表示部12を小型なものとして提供することができ、編集が開始されると、モニタ装置15の電源を切っても支障なく、省電力の映像編集装置を提供することができる。

【0049】なお、この実施形態では、DVDからPCカードへの編集は、PCカードの先頭からダビングが開始されるものとして説明したが、既に一部記録されているときには、記録されていない部分にダビングするようにしてもよい。

【0050】また、図示しないが、ダビングが開始され

10

る前に、ダビングされる側のDVDやPCカードに既に情報が記録されていることを示す表示を、上記の「ERR」メッセージとして行なうようにしてもよい。

【0051】既に記録されている情報の保存が必要な場合には、ダビングを中止してダビングされる側のDVDやPCカードの交換を行ない、不要であれば、ダビングを続行すればよいので、誤って必要な記録情報を消してしまうことが防止できる。

【0052】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の映像編集装置によると、次のような効果が得られる。即ち、PCカードに記録されているカメラの撮影情報などの情報を、全部もしくは一部選択して、記録容量の大きいDVDに保存することができるので、同じPCカードを何度も繰り返し使用することができる。

【0053】PCカードとDVDとの間で編集を行なうための操作部や編集表示部がPCカードの挿入口とDVDの挿入口との間に設けられ、また、PCカードの操作部がこのPCカードの挿入口側に、DVDの操作部がこのDVDの挿入口側に夫々は位置されているので、夫々の操作部の識別が容易になり、操作がし易くなって操作性が向上する。

【0054】また、本発明の映像編集方法によると、次のような効果が得られる。即ち、編集表示部の表示内容から、PCカードとDVDとのいずれの方向に編集が行なわれているのか、容易に知ることができるし、また、記録情報の全てを編集するのか、必要な一部だけを編集しているのかを容易に知ることができる。

【0055】記録情報の一部だけを編集する場合でも、その編集したい部分を容易に選択し決定することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による画像編集装置及び方法の一実施形態を示す正面図である。

【図2】図1に示した実施形態の一編集動作での編集表示部とモニタ画面での表示内容を示す図である。

【図3】図1に示した実施形態の他の編集動作での編集表示部とモニタ画面での表示内容を示す図である。

【図4】図1に示した実施形態の編集動作画像できない場合の編集表示部とモニタ画面での表示内容を示す図である。

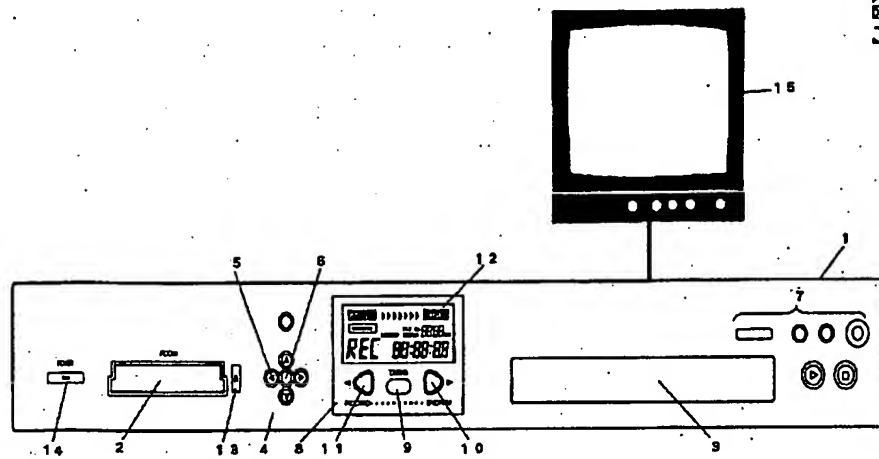
【符号の説明】

- 1 装置本体
- 2 PCカードの挿入口
- 3 DVDの挿入口
- 4 選択操作部
- 5 カーソルボタン
- 6 決定ボタン
- 8 編集操作部
- 9 編集モード切換ボタン

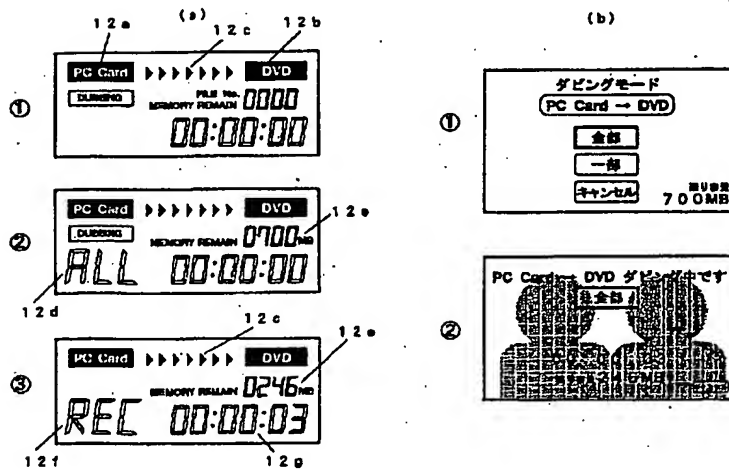
10, 11 ダビングボタン  
12 編集表示部

\*14 電源ボタン  
\* 15 モニタ装置

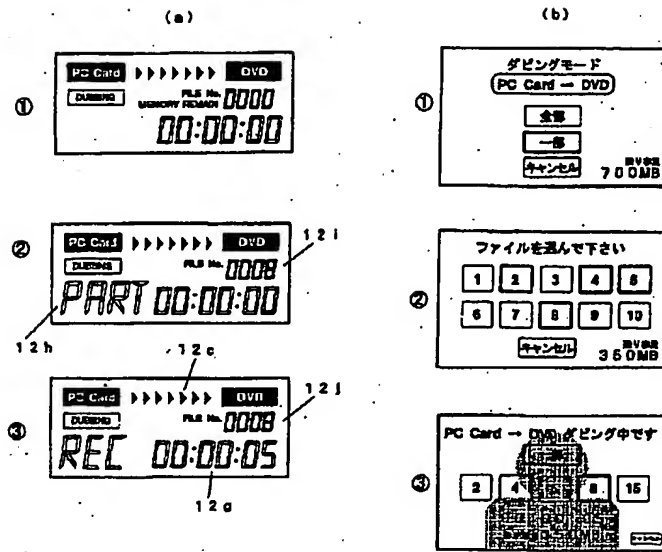
【図1】



【図2】

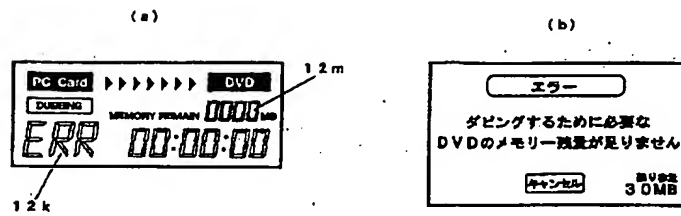


【図3】



【図3】

【図4】



【図4】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**